

研究概要

デジタルヘルスの推進には、本邦の実態を明らかとした上で、ステークホルダー間で、デジタルヘルスの機会と成功、実装への障害に関して、コンセンサスを得ることが重要である。本研究では、以下の3つのプロジェクトを実施する。

*今回のご依頼は1)の部分です。

1) 循環器病のデジタルヘルスに関する施設調査：日本脳卒中学会、日本循環器学会等の基幹施設に対し、循環器病に対するデジタルヘルス（遠隔診療や施設間連携等）に関する質問票による横断調査を実施する。参加施設が提供しているデジタルヘルスの種類と実装時期、導入コスト等を、疾患特性の異なる循環器病（虚血性脳卒中、出血性脳卒中、虚血性心疾患、心不全、大動脈解離等）毎に、施設要因（人口密度、専門医数、学会認定等）をもとに調査する。

2) 循環器病デジタルヘルス推進指標の策定：上記施設調査の結果をもとに、関連学会、患者団体、自治体に、地理的要因等を考慮した上で、評価委員の選出を依頼し、エキスパートパネルを構成し、循環器病デジタルヘルスの目的を議論した上で、UCLA/ Land法に則り、我が国の実態に即した循環器病デジタルヘルス推進指標の策定を行う。

3) 策定された推進指標の妥当性の検討：上記にて策定された循環器病デジタルヘルス推進指標の妥当性を、虚血性脳卒中患者に対する再開通療法を実施した患者等（Close The Gap-Stroke, J-ASPECT Study 登録例）を対象に DID（Difference-in-Difference）分析を用いて検討する。本研究により、疾患特性の異なる循環器病のデジタルヘルスの実態が

明らかとなり、医療の均てん化・集約化に向けた循環器病のデジタルヘルスの推進に向けた基礎資料を作成することができる。本研究では脳卒中、心臓病、産学連携、医療情報、疫学・生物統計の専門家の参画を得て、研究実施体制は万全である。

循環器病のデジタルヘルスの推進に関する研究

